

造影剤検査説明書・同意書

1. 造影剤を使う利点は何でしょうか？

静脈内に注入された造影剤は、血管を介して全身の臓器に分布します。

したがって血管・臓器の血流状態を知ることが出来ます。病変（異常）がある場合には、造影剤の分布（流れ）を知ることが画像診断上重要な情報となります。

2. どのような人にも造影検査はできるのでしょうか？

アレルギー体質の方は副作用を生じる可能性が約3倍多いといわれ、なかでも喘息の方は約10倍といわれています。造影剤を使うと腎機能を更に悪化させることがあります。

以下の問診にお答えください。

- | | |
|--------------------------------|------------|
| ・今までに「造影剤」を使用する検査を受けたことがありますか？ | (はい ・ いいえ) |
| はいと答えた方 「造影剤」で具合が悪くなったことがありますか | (はい ・ いいえ) |
| ・本人または血縁者に喘息やアレルギーがありますか？ | (はい ・ いいえ) |
| ・甲殻類（エビ・カニ）のアレルギーがありますか？ | (はい ・ いいえ) |

3. 造影剤にはどのような危険性があるのでしょうか？

最近では、副作用の少ないものが開発されて用いられていますが、それでも全く危険性をなくすることはできません。軽微な副作用を含めて、約3%の患者さんに何らかの副作用を生じます。

A. 検査中や直後に生じるもの ・ ・ ・ ・ ・ 即時性副作用

ほとんどは気分が悪くなったり、吐いたり、じんましんが出たり、かゆくなったり、といった軽いものです。しかし、まれに冷や汗が出たり、胸が苦しくなったりすることがあります。また、約0.006%（10万人に6人程度）に血圧低下などの重篤な副作用を生ずることがあります。

B. 検査終了数時間から数日間に生じるのも ・ ・ ・ ・ ・ 遅発性副作用

まれに、検査終了数時間から数日後に身体がだるくなったり、頭痛がしたり、じんましんが出たりすることがあります。

以上のように造影剤の副作用があることは医師やスタッフは十分理解しており、副作用が発生した際の初期治療の訓練を積んでいます。検査中に異常を感じられた場合は、ご遠慮なくお申し出下さい。＊質問がある場合は、主治医・看護師・放射線技師にお尋ね下さい。

同意書

私は、以上の説明を読み、十分理解した上で造影剤の投与に同意し、治療に必要な副作用が生じた際に、必要な治療を受けることに同意します。

平成 年 月 日 氏名 _____

《看護師記入欄》 平成 年 月

直近のクレアチニン値 () mg/dl

医師名 _____